

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆被爆70周年を迎えた広島市・長崎市において記念（祈念）式典を挙
- ◆世界各地でのヒロシマデー・ナガサキデーの行事
- ◆核軍縮・不拡散議員連盟、世界宗教者平和会議とともに共同声明を発表
- ◆国際平和デー（9月21日）記念行事を開催しましょう！
- ◆第5回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催について
- ◆ドイツ平和首長会議「フラッグデー」記念行事
- ◆英国議会において、テレビ会議システムを利用した被爆体験証言イベントを実施
- ◆「過去と今の対話」プロジェクトに参加した被爆者が帰国
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議情報システム稼働のご案内
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 6,779自治体

~~*~*~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*~*~*

=====

◆被爆70周年を迎えた広島市・長崎市において記念（祈念）式典を挙

=====

原爆投下から70年を迎えたこの夏、広島市と長崎市において平和記念（祈念）式典が行われました。

8月6日に広島市で行われた式典には、過去最多の100カ国の代表と欧州連合（EU）代表部を含む約5万5千人が参列しました。海外から平和首長会議副会長都市であるボルゴグラード市（ロシア）、ハノーバー市（ドイツ）、マラコフ市（フランス）の代表が参列しました。式典では、松井市長が平和宣言を発表し、「加盟都市が6,700を超えた平和首長会議の会長として、2020年までの核兵器廃絶と核兵器禁止条約の交渉開始に向けた世界的な流れを加速させるために、強い決意を持って全力で取り組みます」と述べました。

長崎市では8月9日に長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われ、過去最多の75カ国の代表及び欧州連合（EU）代表部を含む約6,800人が参列しました。また、平和首長会議副会長都市のマラコフ市（フランス）、モンテンルパ市（フィリピン）の代表が参列しました。式典において発表された平和宣言で、田上市長は被爆や戦争の経験を語り継ぎ、核兵器廃絶に向けて若い世代が行動することの重要性を強調しました。また、各国首脳に対し、核兵器禁止条約など法的枠組みの議論の継続と被爆地訪問を要請しました。

両市の平和宣言の全文は、次のリンクからご覧いただけます。

▼広島市

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1110537278566/index.html>

▼長崎市

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/heiwa/3020000/3020300/p027411.html>

=====

◆世界各地でのヒロシマデー・ナガサキデーの行事

=====

広島・長崎への原爆投下から 70 周年となる今年、8 月 6 日及び 9 日を中心に、世界各地の加盟自治体や平和団体等で慰霊や平和祈念のための行事が実施されました。世界各地で原爆犠牲者を追悼し、平和を願う取組を実施して下さった関係者の皆様に感謝します。

これまで平和首長会議事務局に寄せられた被爆 70 周年行事に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼被爆 70 周年記念事業実施都市一覧（8 月 11 日現在）（平和首長会議ウェブサイト）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/projects/70th_anniversary/List_of_commemorative_events_J.pdf

*なお、平和首長会議事務局では、引き続き、加盟自治体における被爆 70 周年記念行事実施の情報を募集していますので、次のメールアドレスまでご一報ください。

▼E メール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆核軍縮・不拡散議員連盟、世界宗教者平和会議とともに共同声明を発表

[8 月 6 日、広島市]

=====

8 月 6 日、広島市内で行われた会合において、平和首長会議は、核軍縮・不拡散議員連盟、(Parliamentarians for Nuclear Non-proliferation and Disarmament、PNND)、世界宗教者平和会議(Religions for Peace)とともに、核兵器廃絶に関する共同声明を発表しました。「核兵器のない世界：人類共通の利益」と題されたこの声明は、広島・長崎への原爆投下及び国際連合の創設から 70 周年の節目を迎えるにあたり発表されました。

今後、より多くの宗教者、首長、国会議員に対し、この声明への賛同を求め、9 月 26 日の「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」において国連に提出する予定です。

▼共同声明日本語訳 (PDF) (核軍縮・不拡散議員連盟ウェブサイト) :

http://www.pnnd.org/sites/default/files/i/doc/Materials/rfp_pnnd_mfpgong_tong_sheng_ming_ri_ben_yu_ban_.pdf

▼共同声明に関するプレスリリース (英語) (核軍縮・不拡散議員連盟ウェブサイト) :

<http://www.pnnd.org/article/nuclear-weapon-free-world-our-common-good-legislators-and-religious-leaders-join-forces>

=====

国際平和デー（9 月 21 日）記念行事を開催しましょう！

=====

国連では、毎年 9 月 21 日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「平和のためのパートナーシップ—すべての人に尊厳を (Partnerships for Peace - Dignity for All)」です。

平和首長会議もこの趣旨に賛同し、その行動計画において全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けていくことを盛り込んでいます。本年は 6 月 15 日に配信した『平和首長会議ニュース (2015 年 6 月) 第 66 号』により全加盟自治体へ 100 日前メッセージを送付しています。

また、昨年、一昨年に引き続き、岐阜県高山市から加盟自治体に対し、この国際平和デーが平和について改めて考えるきっかけとなるよう、9 月 21 日正午に一斉鐘打を行っていただくよう依頼がありました。

つきましては、各加盟自治体におかれましても、国際平和デーの記念行事の一環としてこの取組への御協力を御検討いただければ幸いです。なお、この呼び掛けに御協力いただいた自治体におかれまして

は、開催の日時、場所、概要等を高山市（担当部署：市民活動推進課）及び平和首長会議事務局にお知らせいただきますようお願いいたします。

▼高山市からの依頼文

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/Sep21_peaceday/Request_from_Takayama_City.pdf

▼高山市役所市民活動推進課 E メール（担当：山本様）：

shisui@city.takayama.lg.jp

▼平和首長会議事務局からの依頼文

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/Sep21_peaceday/Request_from_MfP.pdf

* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆第5回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催について

=====

平和首長会議では、国内における取組の充実を図るため、平成23年度から毎年度、国内加盟都市会議総会を開催しています。

今年度は、7月16日付けのEメールにて御案内したとおり、本市において第5回目となる国内加盟都市会議総会を開催いたします。

貴自治体におかれましては、当会議への出席を御検討いただければ幸いです。御参加いただける場合は、Eメールで送付した案内に添付しておりました「出欠等連絡票」により8月31日（月）までに御回答くださいますようお願い申し上げます。一人でも多くの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

日程：平成27年11月9日（月）、10日（火）

場所：広島国際会議場 地下2階「ヒマワリ」（広島市中区中島町1-5）等

※詳細については、7月16日付けの案内を御確認ください。

▼国内加盟都市会議総会のこれまでの実施状況はこちらから御確認いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/jpmeeting/index.html>

=====

ドイツ平和首長会議「フラッグデー」記念行事

[7月8日]

=====

7月8日、平和首長会議副会長都市であるハノーバー市の呼びかけにより、ドイツの多くの加盟都市の市庁舎に平和首長会議の旗が掲げられました。旗の掲揚は、核兵器廃絶及び世界恒久平和への願いをこめたものです。今年で第4回目となったドイツ平和首長会議フラッグデーには165の自治体が参加し、各地でこの日の催しの様子が記録されました。

フラッグデーは、1996年7月8日に、核兵器使用の威嚇でも国際法に違反するとの勧告的意見を国際司法裁判所が発表したことを記念する行事です。

今年、この7月8日のフラッグデーに合わせ、ハノーバー市においてドイツ平和首長会議加盟都市会議が開催されました。また、広島・長崎の原爆投下70周年を記念して、関連行事として、昨今の世界情勢を踏まえ核の問題を考える講演会が行われたほか、平和首長会議原爆ポスター展やアニメ「つるのって」上映会が実施されました。

▼ハノーバー市における行事の写真（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Germany/flag_day.html

▼関連記事（ドイツ平和首長会議ウェブサイト、ドイツ語）：

<http://www.mayorsforpeace.de/termine/flaggentag.html>

=====

◆英国議会において、テレビ会議システムを利用した被爆体験証言イベントを実施
[7月16日、ロンドン市（英国）]

7月16日、インターネットを使ったテレビ電話システムを利用してロンドンと広島を結び、英国国会議事堂において被爆体験証言を聞くイベント「ヒロシマ；理解・協調・平和」が実施されました。

英国国会議事堂の委員会室で行われたこのイベントは、主催者であるレアード上院議員の挨拶で始まり、14歳の時に広島で被爆した梶本淑子さんが、英国上院・下院議員ら約80人に対し、自らの被爆体験を語り、参加者は梶本さんの力強い平和と和解のメッセージに耳を傾けました。証言の後には質疑応答も行われました。

このイベントは、広島・長崎の原爆投下70周年記念行事として、ロンドンに拠点を置く非営利団体「Foundation for International Collaboration」が主催し、平和首長会議英国・アイルランド支部の協力によって実施されました。

▼イベントの写真（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/UK_Parliament/skype_Abomb_testimony.html

▼イベントのチラシ(英語、PDF):

http://www.mayorsforpeace.org/english/topic/2015/UK_Parliament/20150716_Hiroshima_London_event.pdf

▼「Foundation for International Collaboration」ウェブサイト（英語）：

<http://www.f-i-c.org>

=====

◆「過去と今の対話」プロジェクトに参加した被爆者が帰国
[7月25日、横浜市]

被爆70周年の今年、平和首長会議はピースボートと連携し、世界各地で被爆体験を次世代に継承していく「過去と今の対話」プロジェクトを実施しました。これは、ピースボートが主催する「ヒバクシャ地球一周証言の航海」（通称おりづるプロジェクト）の寄港地において、被爆当時子どもだった被爆者が、被爆当時の自分たちと同じ年頃の子どもたち、そしてその親たちと対面し、対話するプロジェクトです。

4月に横浜港を出発した船は、8名の被爆者と3名のユース非核特使を乗せて、世界各国で被爆体験講話会等の平和行事に参加し、7月25日、横浜港へ無事帰港しました。今回のプロジェクトの締めくくりとして、参加者は8月6日と9日に広島市・長崎市で行われた平和記念式典に参加しました。

今回の航海中、以下の16の自治体に「過去と今の対話」プロジェクト関連の行事開催等で御協力いただきました。

コーチ市（インド）、ピレウス市（ギリシャ）、カタニア市（イタリア）、モトリル市（スペイン）、リスボン市（ポルトガル）、ゴンフレヴィル・ロルシェール市（フランス）、ブルッヘ市、イーペル市、ブリュッセル市（ベルギー）、グダニスク市（ポーランド）、サンクト・ペテルブルグ市（ロシア）、ハンブルグ市（ドイツ）、ベルゲン市（ノルウェー）、レイキャビク市（アイスランド）、サンタ・アポロニア市（グアテマラ）、ホノルル市（米国）

▼参加者による記者会見（ピースボートウェブサイト）：

<http://peaceboat.org/8789.html>

▼ピースボートおりづるプロジェクトブログ：

<http://ameblo.jp/hibakushaglobal>

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第10回）
[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

70年の節目を刻んだ今年の広島原爆の日（8月6日）。平和記念式典には、過去最多の100カ国と欧州連合（EU）の海外代表が参列しました。多くの海外メディアも、被爆半世紀の1995年には及びませんが、最近では例がないほど取材に訪れました。山口市で開催されたボーイスカウトの世界大会の海外

参加者も広島市の平和記念公園を訪れ、原爆被害について学びました。14～17歳の少年少女を中心に約2万5千人、1年間に原爆資料館を訪れる外国人の1割に相当する人数です。それぞれの国に帰って周囲の人にしっかり伝えてもらえれば、と期待しています。もちろん私たち広島市民も、70年前にここで何が起きたか、もっと海外の人に知ってもらうよう努力をさらに重ねていきたい。あらためて、そう思いました。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○復興と鎮魂 70年の重み 広島原爆の日 平和宣言「今こそ行動を」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=49083>

○海外メディア 広島注目 資料館館長取材 既に10件

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=48244>

○世界の若者がヒロシマ学ぶ ジャンボリー 広島の平和公園へ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=48301>

○在朝被爆者支援 活動の継続誓う 広島の協議会40年

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=48123>

○核廃絶の新決議案 岸田外相、国連に提出へ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=48029>

○「被爆者ゼロで解散も」35% 被爆者団体全国調査 存続希望49団体

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=47546>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*杉戸町（埼玉県）

「平成27年度杉戸町平和企画展」を開催中

杉戸町では、8月19日（水）～23日（日）まで、杉戸町生涯学習センター「カルスタすぎと」において平和企画展を開催しています。8月23日（日）には、平和祈念イベントが開催され、原爆に関する映画上映、講演会、中学生による作文の朗読発表、平和祈念植樹が予定されています。

▼展示及びイベントの概要（杉戸町ウェブサイト）

<http://www.town.sugito.lg.jp/cms/page8696.html>

*たつの市（兵庫県）

特別展「大戦の記憶－写真ニュースにみるアジア太平洋戦争－」を開催中

たつの市では、7月18日（土）～9月23日（水・祝）まで、たつの市立埋蔵文化財センターにおいて特別展「大戦の記憶－写真ニュースにみるアジア太平洋戦争－」を開催しています。

▼展示の概要（たつの市ウェブサイト）

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/kouhohisho/maibuntokubetuten.html>

*調布市（東京都）

平和祈念事業「水木しげるの戦争と新聞報道展」を開催中

調布市では、8月6日（木）から9月13日（日）まで、「調布市文化会館たづくり」において平和祈念事業「水木しげるの戦争と新聞報道展」を開催しています。

▼展示の概要（調布市ウェブサイト）

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1436174432454/index.html>

*福山市（広島県）
特別企画展「被爆 70 年—文学に描かれた 8 月 6 日」

福山市では、8 月 1 日（土）～10 月 12 日（月・祝）まで、ふくやま文学館において特別企画展「被爆 70 年—文学に描かれた 8 月 6 日」を開催しています。

▼展示の概要（ふくやま文学館ウェブサイト）
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/bungakukan/49673.html>

*水戸市（茨城県）
企画展「戦後 70 年 戦争の記憶を未来へ」を開催中

水戸市では、7 月 22 日（水）～8 月 30 日（日）まで、水戸市立博物館において企画展「戦後 70 年 戦争の記憶を未来へ」を開催しています。

▼展示の概要（水戸市立博物館ウェブサイト）
<http://shihaku1.hs.plala.or.jp/exhibition/988>

*グラノラーズ市（スペイン）
・グラノラーズ市議会、核兵器廃絶宣言を採択
・カタルーニャ地方におけるヒロシマ・ナガサキ原爆展の巡回展示を調整中

7 月 28 日、平和首長会議副会長都市であるグラノラーズ市の市議会本会議において、核兵器廃絶を求める宣言が全会一致で採択されました。同宣言は、3 月にバルセロナ市議会において採択されたもので、カタルーニャ地方の他都市に対しても賛同が呼び掛けられています。

▼グラノラーズ市議会による宣言文（日本語訳 原文はカタルーニャ語）
http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Granollers/Declaration_jul2015_J.pdf

また、グラノラーズ市とバルセロナ市において 1 月～3 月に開催されたヒロシマ・ナガサキ原爆展が 9 月からカタルーニャ地方の他都市においても巡回展示されることになりました。

この原爆展は、広島・長崎両市の共同事業であり、グラノラーズ市が原爆投下 70 周年記念事業としてバルセロナ市と協力して実施したもので、両市での開催期間中、多くの来場者が見学しました。展示パネルは、両市での展示終了後、グラノラーズ市に寄贈され、カタルーニャ地方における巡回展示を行うこととなりました。

巡回展は、9 月から 10 月までラ・ガリガ市、11 月にはリョレト・デ・マル市において開催される予定です。2016 年にはさらに多くのカタルーニャ地方の都市での巡回展示実現を目指し、調整が行われています。

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）：
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼E メール：mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆平和首長会議情報システム稼働のご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を構築しました。このシステムを利用することで、加盟自治体の情報検索、貴自治体の情報更新等が可能となります。貴自治体の情報を最新のものに更新していただき、平和首長会議の活動に本システムを利活用していただけますようお願い申し上げます。なお、システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご不明点等は、次のアドレスにお問い合わせください。

▼E メール: mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を昨年度から開始しました。

7 月 1 日から 31 日までに、国内では、蕨市（埼玉県）、小平市（東京都）及び三田市（兵庫県）にアオギリを、那珂市（茨城県）、岸和田市（大阪府）及び稲美町（兵庫県）にクスノキを、松江市（島根県）にアオギリとクスノキを、国外ではレナン市（スイス）にイチョウの種を配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼E メール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、第 8 回平和市長会議総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、290 を超える都市がポスター展を開催しており、7 月には兵庫県姫路市、ハノーバー市（ドイツ）、シュトゥットガルト市（ドイツ）でポスター展が開催されました。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011 年 11 月の理事会及び 2012 年 1 月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第 8 回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2015 年 8 月 1 日現在、2,085,099 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆平和首長会議会長訪問 (8月1日～8月7日)

=====

被爆70周年を迎えた今年、8月6日を中心に、広島市は多くの来賓をお迎えし、松井一實広島市長・平和首長会議会長は、次のような海外からの来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- *8月4日(火) 田村秀子 ひろしま平和大使
- *8月4日(火) トーマス・マシュウ 平和首長会議2020ビジョンキャンペーナー 一行
- *8月4日(火) 国際交流NGOピースボート 第8回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」参加者一行
- *8月5日(水) アンドレイ・コソラポフ ボルゴグラード市長
- *8月5日(水) キム・ウォンス 国際連合事務次長兼軍縮担当上級代表代行
- *8月5日(水) モハマドレザ・ソルーシュ テヘラン平和博物館理事長
- *8月5日(水) 核軍縮・不拡散議員連盟(PNND) 一行
- *8月6日(木) バス・ノルマンディ州議会一行
- *8月7日(金) シュテファン・ショストック ハノーバー市長
- *8月7日(金) ヤン・ハマーチェク チェコ共和国下院議長
- *8月7日(金) ひろしま平和大使 サーロー・節子氏、同 キャサリン・サリバン氏
- *8月7日(金) ミッシェル・シボ マラコフ市長特別顧問、美帆・シボ フランス平和首長会議顧問、ヴィトリ・シュール・セヌ市代表団一行
- *8月7日(金) ゲルニカ・ルモ市 折り紙プロジェクト一行

▼関連情報

広島市/日々の動静—2015年8月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1438590740913/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟都市数：161カ国・地域 6,779自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月46自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は8月1日現在で6,779自治体(161カ国・地域)となりました。

日本国内では、東京都武蔵村山市等16自治体(6市8町2村)が加盟し、国内加盟都市数は1,580都市(加盟率90.8%)となりました。養父市及びたつの市の加盟により兵庫県内の全自治体が、与論町の加盟により鹿児島県内の全自治体が、平和首長会議に加盟しました。これにより、1府23県(秋田県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、山梨県、新潟県、長野県、岐阜県、三重県、大阪府、和歌山県、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県)において全自治体が加盟したことになります。

海外については、リビアのトリポリ地域の自治体カシール・ビン・ガシールから同国初の加盟申請がありました。これにより、平和首長会議のネットワークは161カ国・地域に広がりました。また、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの21自治体が新たに加盟し、同国の加盟都市数が713自治体となりました。この他、フランス、ドイツ、イタリア、オランダから計8都市が新たに加盟しました。引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼8月1日付新規加盟都市一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1508_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***
平和首長会議事務局
〒730-0811 広島市中区中島町1-5
(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課
TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp